

Ⅱ種採用警察官の活躍の舞台は、世界各地の日本国大使館や総領事館、国際機関である国際刑事警察機構（ICPO）等、日本国内にとどまらず、海外にも広がっています。

また、広い視野と国際感覚を持ち、豊かな専門知識と語学力に富む人材を育成するため、海外の大学や関係機関にもⅡ種採用警察官を派遣しています。

## 日本の治安対策に生かすために

この度、米国の首都ワシントンDCの日本国大使館で、自館の警備や治安情報の収集等に携わる機会に恵まれ、現在、他の館員とともに、米国の警察機関等と協力しながら、仕事を進めています。

私はこれまで、重要施設の警備、大規模災害等の緊急事態対処に関する仕事に携わってきましたが、同じ警備の仕事であっても、日本と米国ではその思想や手法が大きく異なることも多く、日々新鮮な発見があり、知的好奇心をくすぐられる毎日を送っています。

ここで得たことで、日本の治安対策に生かせることはないかを考えながら仕事をしていますが、その過程で、日本では得難い多くの知識を吸収し、広い視野と柔軟な思考を身に付けたいと思っています。

また、海外でその国の警察官らと仕事に関するディスカッションをするのは勇気があることですが、その際は、これまでの勤務で培ってきたものが役立つと感じます。これは、本庁や第一線で幅広い経験と胆力を養うことができる警察庁の優れた人材育成システムによるところが大きいと思います。

霞が関・現場・海外の三つにまたがる広いフィールドでいろいろなことをやってみたいという方が、国民の生命・身体・財産、そして国家の安寧を守るため、我々の戦列に加わってくれるのを待っています。

在アメリカ合衆国日本国大使館  
(平成9年入庁)



## 文化や言葉の違いを乗り越えて

北はジョホール海峡を挟んでマレーシアの山々を望み、南に目を転じればマラッカ海峡に浮かぶ星の数ほどの大小様々な船舶。四方を海に囲まれた南国情緒あふれる国、シンガポール。私は現在、そのシンガポールにある日本国大使館において、一般犯罪や治安情勢に関する情報収集、当地に滞在する日本人の方々への防犯指導や、各種防犯対策に関する情報提供等の業務に従事しています。

一般的に、シンガポールは「安全な国」と言われていますが、犯罪のない国は存在しません。当地の警察も、安定した治安情勢に決して満足することなく、次々に発生する新たな犯罪対策に果敢に取り組んでいます。普段は、コーヒーを飲みながら冗談を言い合う仲でも、いざ仕事となると目は真剣そのものです。日々の業務は非常に厳しく、日本警察代表としての意見を尋ねられることや、捜査協力の議論等で衝突することもあります。しかし、文化や言葉の違いを乗り越え、それらが結実したときの喜びは格別なものであり、海外勤務の醍醐味と言えます。

Ⅱ種採用警察官の魅力は、「自らの専門性を磨き上げることができる」の一言に尽きます。犯罪のグローバル化や国際テロの脅威に対応するため、ますます国際感覚の備わった人材が求められています。「我こそは！」という方、警察庁の扉を開けてみてください。そこには、これまで気付かなかった自分の新しい力を発見できる多くのフィールドが用意されています。

在シンガポール日本国大使館  
(平成10年入庁)



在上海日本国総領事館  
(平成11年入庁)



## 在留日本人等の安全を確保

私は、昨年の7月から在上海日本国総領事館で勤務しています。「海外を訪れる日本人、海外で生活している日本人の安全を確保すること」が総領事館における私の任務です。具体的には、上海及び近郊都市に在留する日本人や旅行者等に対して、犯罪被害等に巻き込まれた場合の支援や治安情報の提供を行う業務を担当しています。昨年は上海万博が開催されたこともあり、多数の日本人が当地を訪れましたが、上海の治安機関等と連携し、治安情報の提供や支援を行った結果、同万博の開催期間中、大きなトラブルもなく、無事に終了することができました。在留邦人の数が5万人を超える上海では、支援の内容も多岐にわたりますが、これまでの勤務で培ってきた警察官としての知識や経験が生きていることを実感しています。また、海外での勤務を通じて視野が広がっていくのを感じており、充実した毎日を送っています。

Ⅱ種採用警察官は、警察庁での勤務はもちろんのこと、都道府県警察での勤務に加え、在外公館で勤務する機会もあります。職責は重要であり、決して楽な仕事ではありませんが、治安の確保という崇高な仕事に携わる充実感や達成感は、何物にも代え難いものであると思っています。様々なフィールドが用意され、自分の可能性を延ばすことができる警察庁の仕事は、皆さんが求めているものであると確信しています。

## 交通警察の知識を深化させる

私は現在、行政官短期在外研究員として、米国内務省が実施する「International Visitor Leadership Program」に参加しており、米国における高齢運転者対策について研究を行っています。

我が国と同様、米国においても高齢運転者による交通事故の増加は深刻な問題であり、米国運輸省や各州政府において様々な施策が講じられていますが、我が国の高齢運転者対策とは異なったアプローチによる施策もあり、研究活動を通じて多くのことを学んでいます。

日々の研究活動では、米国運輸省の職員を始め、多くの専門家と議論することがありますが、英語力や国際感覚を習得するだけでなく、これまで培ってきた交通警察の知識を更に深化させる絶好の機会であり、今後の勤務において非常に重要な経験になると確信しています。

Ⅱ種採用警察官は、「治安のスペシャリスト」として専門性に富んだ人材であることが求められており、警察庁や都道府県警察においてその専門性を発揮するだけでなく、海外にも活躍のフィールドがあります。

皆さんの人生の選択肢の一つに警察庁を加えてみてはいかがでしょうか。人々の暮らしと安全を守ることに強い意欲のある方は、是非、警察庁を訪問してください。



アメリカ合衆国留学  
(平成15年入庁)

